

8. 緑の将来像と配置方針

(1) 緑のゾーニング

緑のゾーニング

面的な緑の形成方針として富田林市の自然条件や土地利用現況、都市計画マスタープランによる将来的な土地利用方針をふまえて、地域別に緑のゾーニングを行えば、概ね、全市域を以下のような5つのゾーンと1つの軸に区分することができます。ゾーン別の将来方針を次頁に整理します。

【5つのゾーンと1つの軸】

- | | | |
|---------|------------|--------|
| ・市街地ゾーン | ・土地利用調整ゾーン | ・緑地ゾーン |
| ・田園ゾーン | ・自然保全ゾーン | ・石川河川軸 |

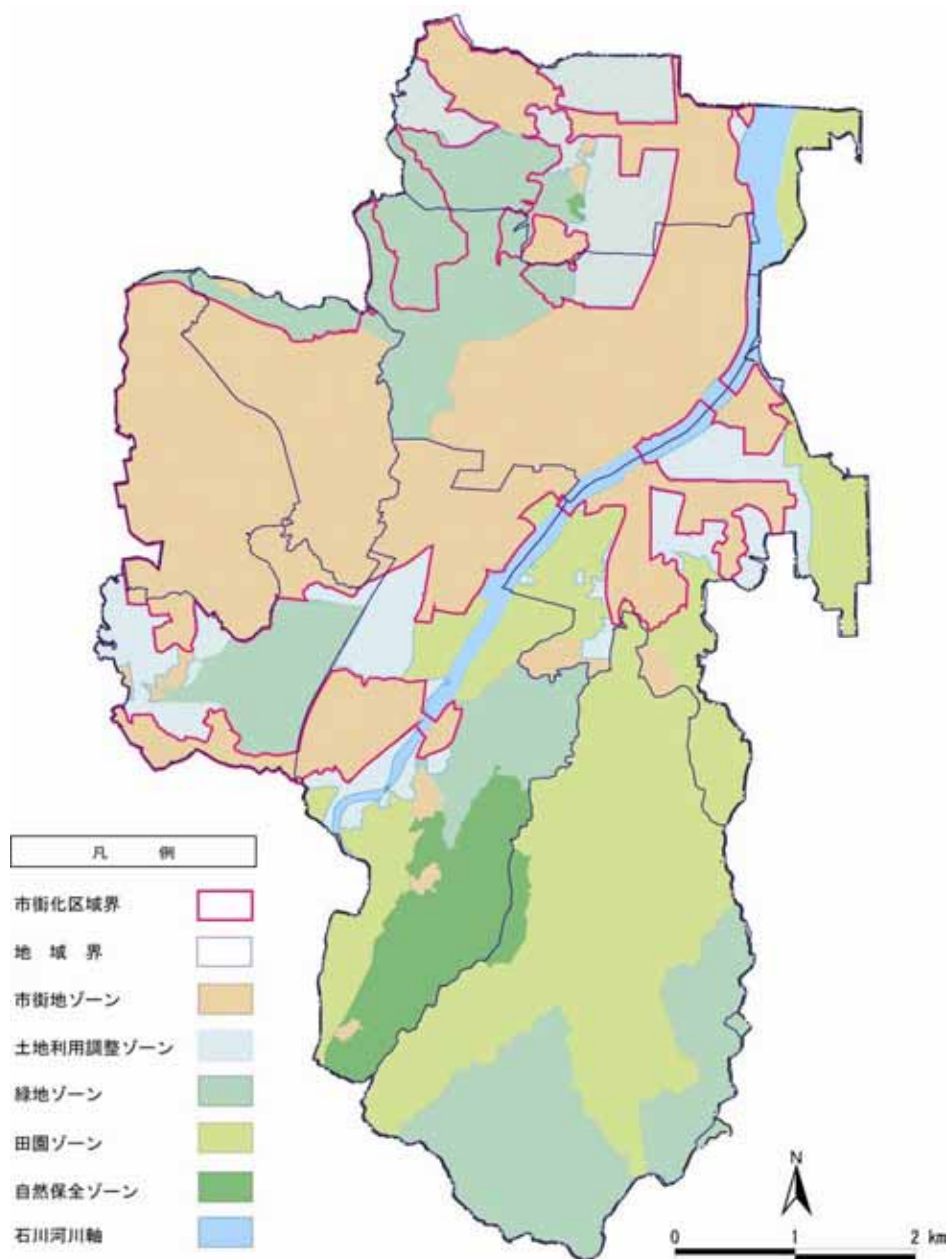


図8 - 1 緑のゾーニング図

ゾーン別の緑の方針

表8 - 1 ゾーン別の緑の基本方針

ゾーン	基本方針
市街地ゾーン	<p>市街地ゾーンは、既成市街地と新市街地に大別されます。</p> <p>既成市街地は、商住工が混在した旧来からの市街地です。段丘崖の斜面林や社寺林等の既存の樹林地、生産緑地等を保全しながら、地区や住区単位で計画的に公園・緑地を整備し、道路等の整備に際しては環境施設帯や街路樹を設ける等、新たな緑の整備に努めます。</p> <p>新市街地は、金剛や金剛東等のニュータウンの区域にあたり、道路や公園・緑地をはじめとする公共公益施設が計画的に整備され、住宅地においては緑地協定地区をはじめとして宅地内に緑が形成され、比較的良好な環境となっています。市街地の外縁部には丘陵や段丘崖の斜面林が残されていることから、今後は身近な自然地としてそれらの保全・活用を図っていきます。</p> <p>また、市街地ゾーンにおいては、民有地や公共施設における緑化の推進を図り、緑豊かな市街地景観を形成させます。</p>
土地利用調整ゾーン	<p>市街地に近接した市街化調整区域にあたり、農地や集落、住宅地等が混在した地域となっています。本ゾーンは、都市計画マスタープランにおいて、都市的土地利用と農地・山林等の自然的土地利用との調整を図るべき土地利用調整エリアとなっている地域であることから、農地をはじめとする良好な農村の緑の保全を図るほか、現況の緑の資源を出来る限り活用しながら、今後の市街地形成に際しては適切に緑を配置することにより、良好な環境を保ちます。</p>
緑地ゾーン	<p>石川より西側では広域公園である府営錦織公園と新堂地区のゴルフ場及びPL教団周辺の緑地にあたり、石川より東側では嶽山・金胎寺山から連なる丘陵地や市域南部の丘陵地にあたるゾーンです。里山の緑の保全・管理や活用を図っていくゾーンとします。とくに、府営錦織公園とその西側の緑地、お亀石古墳周辺、美具久留御魂神社周辺は羽曳野丘陵の中でわずかに残された貴重な自然であることから、これらの緑地の保全に努めます。</p>
田園ゾーン	<p>本ゾーンは農業振興地域・農用地区域をはじめとするのびやかな農地や集落、里山がひろがる地域であり、優良農地をはじめとする良好な農村の緑の保全に努めます。とくに山麓部は、丘陵斜面に沿って谷が奥深く入り込み、谷地田が形成され、特徴的な里山景観を呈しています。また、ため池や樹林、樹園地、里地の社寺林等多様な里山の自然が存在していることから、富田林市を代表する里山の緑として保全・育成を図ります。</p>
自然保全ゾーン	<p>南部の山地は富田林市を代表的する緑であり、クヌギ、コナラ等の樹林で構成された比較的自然度の高い樹林地を有し、蜜柑園等樹園地も多数存在します。また、この地域は土石流危険渓流や急傾斜地崩壊危険箇所を多数含み、災害に対して脆弱です。従って、今後も適正な森林管理により樹林地の保全を行いながら、市内有数の緑の資源として、樹園地のレクリエーション利用も含めて利活用を図ります。</p>
石川河川軸	<p>市域を縦断し、富田林市の都市構造を大きく規定している要素となっています。水の生物・川原の生物を含む豊かな河川生態系の保全・再生を図り、河川ならではの広がりある緑の空間と景観を活用しながら、憩いや環境学習、健康増進活動等、人々の多様な活動の場となるシンボリックな水と緑の交流軸を形成させます。</p>

(2) 富田林市の緑の将来像

緑の有する多様な機能と役割

富田林市における様々な緑が有する機能を「環境保全機能」、「レクリエーション機能」、「防災機能」、「景観構成機能」の4つに区分し、それぞれ、以下のように4系統別の緑地として整理すると、下表のようになります。富田林市域は、市街化区域と市街化調整区域とに区分されることから、緑の現況特性もこれら二区域では大きく異なります。

表8-2 緑の有する多様な機能

	環境保全機能	レクリエーション機能	防災機能	景観構成機能
市街化区域	<ul style="list-style-type: none"> ため池と周辺の樹林地 公園・緑地 生産緑地 緑道・街路樹 段丘崖の斜面緑地 河川・ため池 	<ul style="list-style-type: none"> グラウンド等広場 レクリエーション施設 	<ul style="list-style-type: none"> 避難路となる道路、緑道、街路樹 防火機能を有する緩衝林等の樹林地 生産緑地 	<ul style="list-style-type: none"> 都市公園・緑地 街路樹 緑地協定区域 河川・ため池 生産緑地
市街化調整区域	<ul style="list-style-type: none"> 農地・樹園地 環境保全林・指定樹林地 社寺林 里山 河川・ため池 	<ul style="list-style-type: none"> 里山園地 ハイキング道 神社・仏閣 	<ul style="list-style-type: none"> 河川・ため池 農地 山林の緑（土砂災害等の危険区域等を含む樹林） 	<ul style="list-style-type: none"> 山林の緑 里山の緑 農地・樹園地
共通	<ul style="list-style-type: none"> 石川河川軸 河川・ため池 段丘崖の斜面緑地 	<ul style="list-style-type: none"> 一定規模の都市公園・緑地 都市公園以外の主要な民間施設緑地 市民農園 府営石川河川公園 	<ul style="list-style-type: none"> 一時避難地・広域避難地となる公園・緑地 一時避難地・広域避難地となる学校等公共施設 河川・ため池 	<ul style="list-style-type: none"> 市街地の際を形成する斜面緑地等

各種の緑の構成要素を、「富田林の環境の骨格を形成する緑」、「富田林の風土を表現する緑」、「富田林の暮らしを彩る緑」という、3つの切り口によりグルーピングを行い、それぞれの緑の機能を一覧にまとめると下表のようになります。複数の機能を有する緑の総合的な配置と今後の保全・育成・活用の取り組みにより、富田林市の緑の将来像が実現可能となります。

表8-3 緑の機能構成表

	環境保全機能	レクリエーション機能	防災機能	景観構成機能
富田林市の環境の骨格となる緑				
嶽山・金胎寺山の緑				
丘陵斜面林の緑				
石川沿い段丘崖の緑				
石川河川軸				
富田林市の風土を表現する緑				
里山の緑				
農地の緑				
歴史・文化の緑				
社寺林の緑				
富田林市の暮らしを彩る緑				
大規模な公園・緑地				
身近な公園・緑地				
学校グラウンド等				
生産緑地				
街路樹・緑道				
宅地の緑（住宅や施設まわりの緑）				
緑のネットワーク				

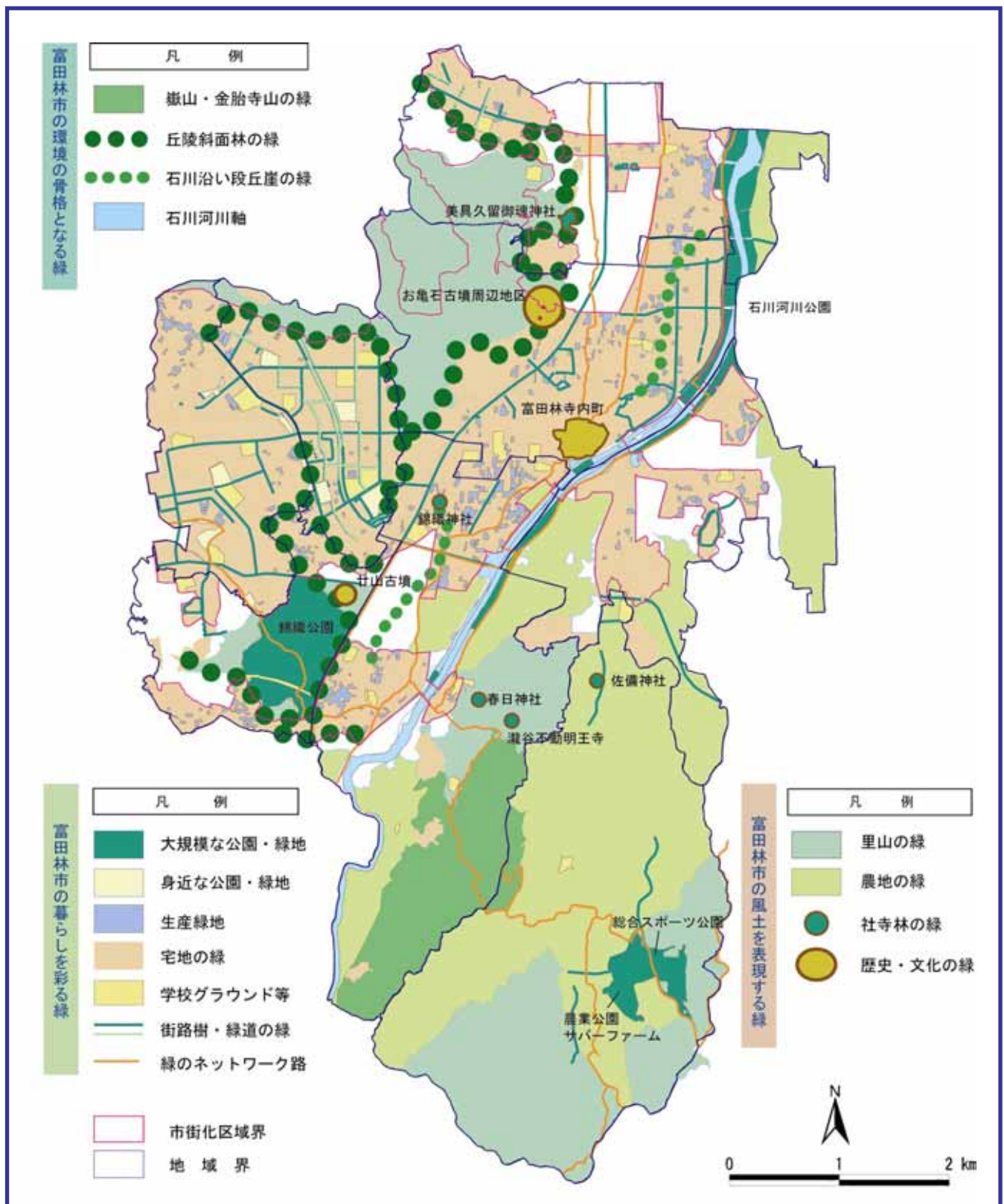


図8-2 緑の将来像図

(3) 系統別の緑の配置方針

環境保全系統の緑の配置方針

1) 富田林市の自然環境を特徴づける緑

嶽山・金胎寺山の緑	クヌギ、コナラ等の樹林が存在し、比較的自然度が高いことから、富田林市を代表する樹林の緑となります。
丘陵斜面林の緑	大阪層群からなる羽曳野丘陵の緑は、谷地田、ため池等と一体となった富田林市に特徴的な緑であり、都市生活に身近な緑として、重要な緑となります。
石川沿い段丘崖の緑	石川沿いの河岸段丘崖に沿って、帯状の連続的な緑が形成されており、エコトーンとして環境保全上重要な緑となります。
石川河川軸	富田林市の背骨となる水と緑の環境軸であり、貴重な水辺の自然や動植物の生息空間を有し、風の道になる等、都市環境保全上重要な緑の軸となります。
里山の緑	石川より東側の嶽山・金胎寺山から連なる丘陵地や市域南部の丘陵地は、農地の緑の背後に連なる里山の緑として、谷地田、ため池等と一体となった豊かな自然環境を形成しています。
農地の緑	石川沿いに広がる農業振興地域・農用地区域をはじめとする農地の緑は洪水調整機能を有し、地域の保水力を高めています。また、ひろがりのあるのびやかな景観形成に寄与するほか、市街地の外縁部においてヒートアイランド現象の緩和等都市環境の保全に重要な役割を有します。
歴史・文化の緑	お亀石古墳周辺や甘山古墳は、背後の丘陵地の緑と一体となった史跡公園として、地域の自然環境保全上重要な緑となります。
社寺林の緑	社寺林は、富田林市の本来的な自然植生が残る貴重な緑であり、市指定保存樹林ならびに自然環境保全地域として位置づけられています。

2) 都市生活に身近な自然環境を形づくる緑

大規模な公園・緑地	一定規模以上の公園緑地は、旧来からの既存林やため池を抱えた自然度の高い公園になっており、市街化区域内あるいは市街化区域に隣接する貴重な自然環境の場となります。
身近な公園・緑地	明治池公園や寺池公園等の身近な公園・緑地は、ため池や丘陵斜面林と一体となり、都市生活に身近な自然環境を形成しています。
生産緑地	市街化区域内の生産緑地は都市におけるオープンスペースの形成や都市内自然環境の形成という点で重要な役割を担っています。
街路樹・緑道	自然の少ない市街化区域内においては、緑陰効果や帯状に連なる緑のネットワーク効果を有し、道路環境や住宅環境の保全に役立っています。
宅地の緑	まとまった緑が確保し難い市街地においては、公共施設や民有地における緑化により、身近な自然環境の創出していくことが可能です。身近な緑づくりの積み重ねが、都市のヒートアイランドの抑制につながります。

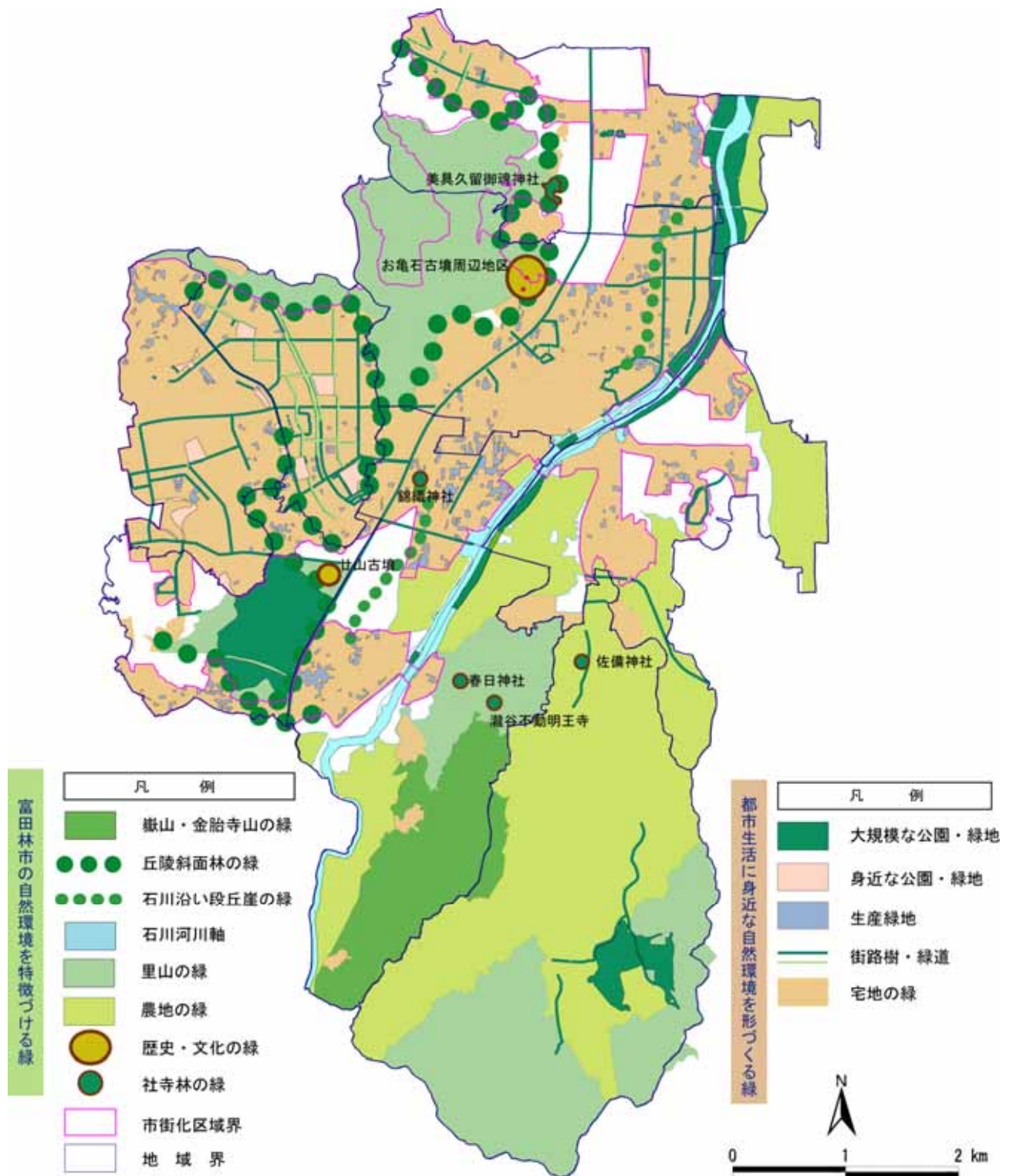


図8-3 環境保全系統の緑の配置図

レクリエーション系統の緑の配置方針

1) 広域的なレクリエーションの場となる緑

<p>大規模な公園・緑地 石川河川軸</p>	<p>府営錦織公園及び府営石川河川公園、総合スポーツ公園は人々の休息や鑑賞、遊戯、運動等総合的なレクリエーション利用に供される公園となります。同時に府営錦織公園は羽曳野丘陵に残る貴重な里山として、府営石川河川公園は河川の動植物の生息環境として、自然レクリエーション拠点となります。</p> <p>また、農業公園サバーファームは地域農業の振興と活性化を目指して、都市住民に自然や農業と親しめる体験型の公園として整備され、周辺の農業環境と一体となりながら人々の田園環境におけるレクリエーション拠点の役割を有しています。</p>
----------------------------	---

2) 身近なレクリエーションの場となる緑

<p>身近な公園・緑地</p>	<p>住区基幹公園等の市街地内の公園・緑地は、人々にとって身近な公園であり、日常的なレクリエーションの場となります。</p>
<p>学校グラウンド等</p>	<p>小学校のグラウンド等は、休日は一般市民に利用され、身近なスポーツ活動やレクリエーション活動の場となります。</p>

3) 富田林の歴史・風土とふれあえる緑

<p>嶽山・金胎寺山の緑</p>	<p>嶽山・金胎寺山は富田林市を代表する自然林を有し、周辺の里山は、富田林市の里山保全の拠点となり、人々の里山の自然とのふれあいの場となります。</p>
<p>里山の緑</p>	<p>嶽山・金胎寺山から連なる丘陵地や府営錦織公園に隣接する緑地は、身近な里山の緑として人々の自然とのふれあいの場となります。</p>
<p>歴史・文化の緑</p>	<p>お亀石古墳周辺や甘山古墳は、背後の丘陵地の緑と一体となった史跡公園として、人々が富田林市の歴史・文化にふれあう空間となります。</p>
<p>社寺林の緑</p>	<p>社寺林の緑は、指定保存樹林のような自然環境的な側面以外に、花の名所や庭園が人々の余暇の場となり、レクリエーションの緑としての役割も有します。</p>

4) レクリエーションを結びつける緑

<p>緑のネットワーク路</p>	<p>河内ふるさとの道や東高野街道、石川サイクリングロードは、市内の主要な公園・緑地やレクリエーション拠点を結ぶネットワーク路となります。</p>
------------------	---

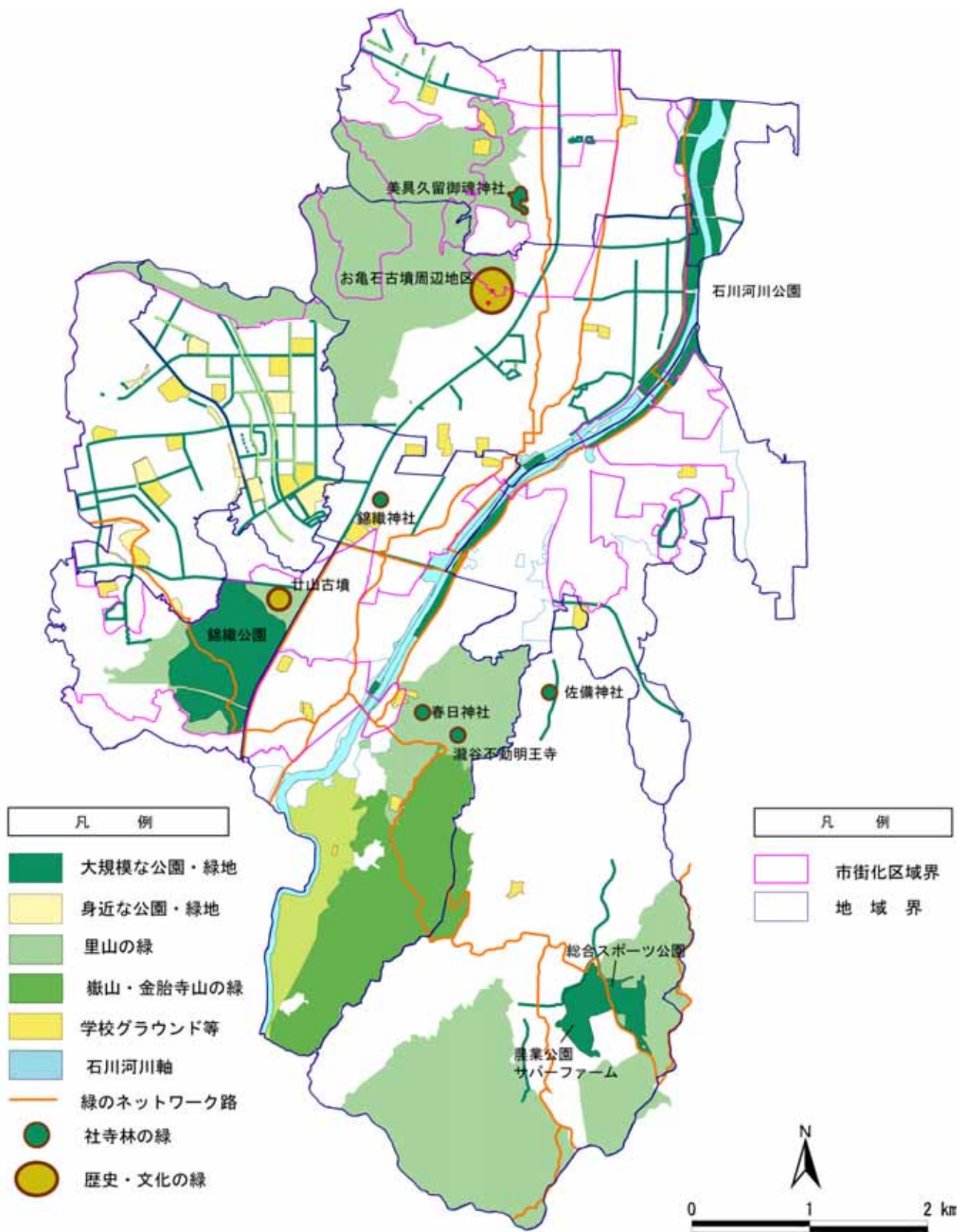


図8-4 レクリエーション系統の緑の配置図

防災系統の緑の配置方針

1) 避難場所・避難路をかたちづくる緑

大規模な公園・緑地 ・府営錦織公園 ・府営石川河川公園	地域防災計画において、府営錦織公園は広域避難地として、府営石川河川公園は一時避難地として位置づけられており、防災上重要な公園・緑地となります。
学校グラウンド等	学校のグラウンド等は、地域防災計画において一時避難地として位置づけられ、災害時の市民の一時的な避難場所となります。
街路樹・緑道	火災時の延焼防止や震災時の建物倒壊の抑制、安全な避難空間の確保等の機能を有する緑となります。

2) 防災機能を有する緑

延焼遮断機能を有する緑 ・丘陵斜面林の緑 ・石川沿い段丘崖の緑 ・石川河川軸 ・農地の緑 ・身近な公園・緑地 ・生産緑地の緑	丘陵地の斜面林や段丘崖の緑、まとまった広がりをもつ農地や市街化区域内の生産緑地、市街地の中の身近な公園緑地等はいずれも市街地の内側や外縁部で延焼の緩和に寄与します。
--	--

3) 土砂災害等を防ぐ山地の緑

嶽山・金胎寺山の緑	嶽山・金胎寺山とその周辺の山地斜面は地すべりや土石流等の危険が高い区域となっているため、樹林の保全により保水力や地盤耐力を高めることにより、土砂災害等を防ぐ必要があります。
-----------	--

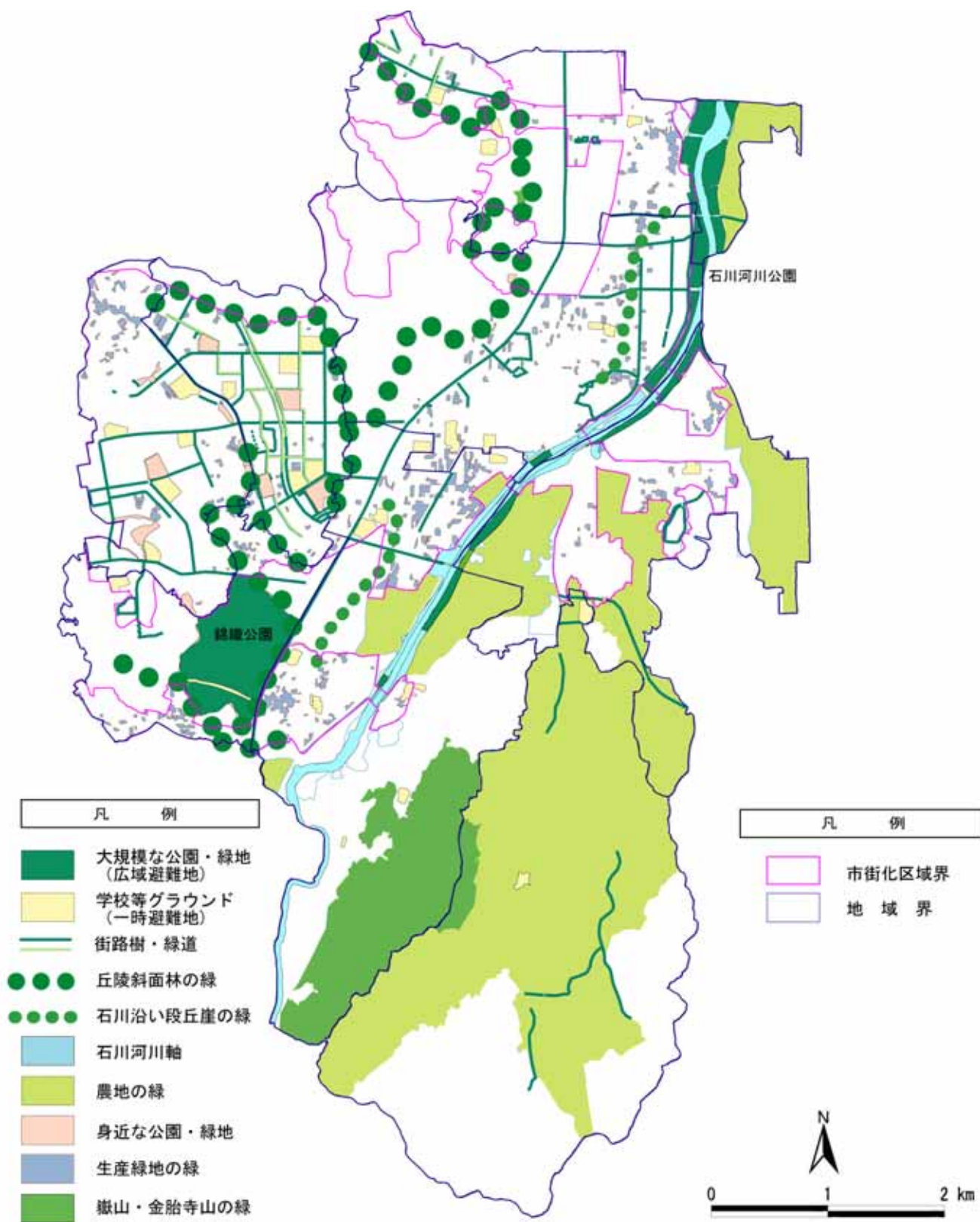


図8-5 防災系統の緑の配置図

景観構成システムの配置方針

1) 富田林市の自然景観を特徴づける緑

嶽山・金胎寺山の緑	市街地から望み見られる嶽山・金胎寺山の山並みは、富田林市を代表するシンボリックな自然景観です。また山頂部からのパノラマ景観等、眺望点としても貴重な景観資源となります。
丘陵斜面林の緑	既成市街地と新市街地を隔てる丘陵斜面林の緑は、ため池と一体となってかつての里山の名残りの景観を呈し、景観資源となります。
石川沿い段丘崖の緑	石川沿いの河岸段丘崖の緑は、既成市街地内を帯状に走っており、工場地域と住宅地域の緩衝帯の緑を形成することで景観形成に寄与しています。
石川河川軸	石川は、市域を縦断する骨格的な景観として、スケールの大きな水と緑の河川軸景観を形づくっています。



2) 富田林市の都市景観を彩る緑

市街地周辺の公園・緑地 ・大規模な公園・緑地 ・身近な公園・緑地	市街地周辺の公園・緑地は、人々にとって身近な緑の景観シンボルとして、日常的な景観に潤いを与える要素となります。
街路樹・緑道の緑	街路樹・緑道の緑は、幹線道路を中心として、市街地の中で連続的に形成される緑の軸となり、都市景観に潤いを与える要素となります。
宅地の緑	景観資源に乏しい市街地においては、公共施設や民有地における緑化により形成される緑が、まちの景観に潤いを与え、生活空間を彩る重要な要素となります。

3) 地域の歴史・文化景観と一体となった緑

歴史・文化景観の緑 ・歴史・文化の緑 ・社寺林の緑	社寺林の緑や古墳等の史跡の緑は、富田林市の往時の景観を表現する緑として、歴史・文化資源と周辺の緑が一体となった景観を形づくりします。重要伝統的建造物群保存地区の富田林寺内町においては、歴史的な町並み景観を演出する要素として屋敷林等の緑の活用が考えられます。
里山の緑 農地の緑	里山や畦畔地等の緑は、伝統的な農村景観やのびやかな農地景観の主要素として、富田林市の風土が緑の景観を形づくっています。



富田林市の自然景観を特徴づける緑

- | 凡 例 | |
|---|-----------|
|  | 嶽山・金胎寺山の緑 |
|  | 丘陵斜面林の緑 |
|  | 石川沿い段丘崖の緑 |
|  | 石川河川軸 |



富田林市の都市景観を彩る緑

- | 凡 例 | |
|---|-----------|
|  | 大規模な公園・緑地 |
|  | 身近な公園・緑地 |
|  | 街路樹・緑道の緑 |
|  | 宅地の緑 |

- | | |
|---|--------|
|  | 市街化区域界 |
|  | 地域界 |

地域の歴史・文化景観と一体となった緑





- | 凡 例 | |
|---|---------|
|  | 歴史・文化の緑 |
|  | 社寺林の緑 |
|  | 里山の緑 |
|  | 農地の緑 |



図8-6 景観構成系統の緑の配置図